

平成31年度特別区立幼稚園教員採用候補者選考

問題用紙

教職・専門教養
平成30年6月24日
70分

注意

- 1 机には、筆記用具以外のものを出してはいけません。
- 2 指示があるまで開いてはいけません。
- 3 時間は70分です。途中退出はできません。
- 4 問題のページ数は、26ページです。始める前にページ数を確かめてください。
- 5 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。また、受験番号に対応する数字もマークしてください。
- 6 解答は、解答用紙の注意事項に従って、解答用紙にマークしてください。問題用紙に記入しても採点しません。
- 7 各問題とも正答は一つだけです。二つ以上マークした場合は誤りとします。
- 8 問題に関連する法律・規則等については、特に明記がある場合を除き、現在施行されている規定によります。
- 9 問題の内容についての質問には一切応じません。
- 10 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為及び不正行為をしてはいけません。
- 11 すべて係員の指示に従って静粛に受験してください。

1 幼稚園教育要領における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に関する記述の内容として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 友達と様々な体験を重ねる中で、きまりを守る必要性が分かり、自分だけできまりをつくり、それを友達に守らせるようになる。
- 2 幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、多くの情報があることに気付き、幼児が遊びではなく生活に必要な情報を取り入れながら活動するようになる。
- 3 身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物を命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。
- 4 友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自分の考えよりも友達の考えを優先するようになる。
- 5 心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、言葉による表現の仕方に気付き、言葉のみで表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

2

次の文章は、幼稚園教育要領における幼稚園教育において育みたい資質・能力の一部である。空所A～Dに該当する語句の組合せとして適当なものは、下の1～5のうちのどれか。

- (1) (A) を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び (B) の基礎」
- (2) 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、(C)、表現力等の基礎」
- (3) 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、(D) 等」

	A	B	C	D
1	豊かな体験	発達	想像力	積極性
2	豊かな体験	技能	判断力	人間性
3	様々な遊び	発達	想像力	人間性
4	豊かな体験	技能	判断力	積極性
5	様々な遊び	技能	想像力	人間性

3 幼稚園教育要領における教育課程の役割と編成等に関する記述の内容として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 教育課程の編成に当たっては、幼稚園教育において育みたい資質・能力を踏まえつつ、各幼稚園の教育目標や教育課程の編成についての基本的な方針について、あらかじめ家庭や地域の承認を得なければならない。
- 2 教育課程の編成に当たっては、自我が芽生え、他者の存在を意識しようとする気持ちが生まれる幼児期の発達の特徴を踏まえ、入園当初に重点を置いて、充実した生活が展開できるように配慮する。
- 3 教育課程の編成に当たっては、入園当初から、他の幼児との関わりの中で、幼児同士や学級全体で目的をもって協同して幼稚園生活を展開し、深めていけるよう、指導の工夫を行う。
- 4 小学校教育との接続に当たっては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにする。
- 5 全体的な計画の作成に当たっては、教育課程を中心にしながらも、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動の計画、学校保健計画、学校安全計画などが、それぞれ独立して展開されるように留意する。

4 幼稚園教育要領における教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項に関する記述として最も適切なものの組合せは、下の1～5のうちどれか。

- A 教育課程に基づく活動を優先し、幼児期にふさわしい無理のないものとなるよう、教育課程に基づく活動を担当する教師と綿密な連携を図るようにする。
- B 家庭や地域での幼児の生活も考慮し、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動の計画を作成するようにする。
- C 地域の実態や保護者の事情よりも幼児の生活のリズムを優先し、実施日数や時間などについて、幼児の心身に負担が生じないよう、適切に行うようにする。
- D 家庭との綿密な連携を図るようにし、その際、情報交換の機会を設けたりするなど、保護者が、幼稚園と共に幼児を育てるという意識が高まるようにする。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

5

幼稚園教育要領における人間関係の内容の取扱いに関する記述として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 一人一人を生かした集団を形成しながら、人と関わる力を育てていくようにするとともに、集団の生活の中で幼児が自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験をし、自分のよさや特徴に気付き、自信をもって行動できるようにする。
- 2 幼児が互いに関わりを深め、協同して遊ぶようになるため、教師の指示の下に行動する力を育てるようにするとともに、他の幼児と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わうことができるようにする。
- 3 幼児が、他の幼児との関わりの中で他人の存在に気付き、相手を尊重する気持ちをもって行動できるようにするとともに、他の幼児に自分と異なる主張があることを知らせ、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを芽生えさせるようにする。
- 4 集団の生活を通して幼児が人との関わりを深め、互いに思いを主張し、折り合いを付ける体験をする中で、幼児が自分の気持ちを抑えることの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力が育つようにする。
- 5 多様な感情を体験し、試行錯誤しながら自分の力で行うことの充実感を味わうことができるよう、幼児の行動を先回りして周囲への働きかけや先の見通しを示すなど適切な援助を行うようにする。

- 6 次の文章は、幼稚園教育要領における環境の内容の取扱いの一部である。空所 A～D に該当する語句の組合せとして適切なものは、下の 1～5 のうちのどれか。

幼児が、遊びの中で周囲の環境と関わり、次第に（ A ）に好奇心を抱き、その意味や（ B ）に関心をもち、物事の法則性に気付き、自分なりに考えることができるようになる過程を大切にすること。また、他の幼児の考えなどに触れて新しい考えを（ C ）喜びや楽しさを味わい、自分の考えを（ D ）にしようとする気持ちが育つようにすること。

	A	B	C	D
1	周囲の世界	操作の仕方	伝え合う	よりよいもの
2	身近な事象	動き	伝え合う	普遍なもの
3	周囲の世界	動き	生み出す	普遍なもの
4	身近な事象	操作の仕方	伝え合う	普遍なもの
5	周囲の世界	操作の仕方	生み出す	よりよいもの

7

幼稚園教育要領における言葉の内容に関する記述として適切なものの組合せは、
下の1～5のうちのどれか。

- A 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- B 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
- C 日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。
- D 親しみをもって日常の挨拶をする。

1 A・B

2 A・C

3 A・D

4 B・C

5 B・D

8

「幼稚園教育指導資料第5集 指導と評価に生かす記録」(平成25年7月 文部科学省)における保育記録の意義と生かし方に関する記述の内容として適切なものの組合せは、下の1～5のうちのどれか。

- A 保育記録は、保護者に幼児の様子を伝え、幼児の成長を保護者と共有することによって、教師の指導が正しいことを保護者に伝えるためのものである。
- B 保育記録は、読み返すことで記録に反映されている自分の見方を知ることができるだけでなく、保育の場での出来事を後から話し合うための情報となる。
- C 保育記録は、一定期間の記録をまとめることで、後になって幼児の言動の意味が理解できたり、言動の変化から成長を読み取ることができたりすることがある。
- D 保育記録は、一人一人の幼児が周囲の環境と関わり、発達に必要な経験ができるよう援助したことを記録し、教師の資質向上に役立てることが目的である。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

9

「スタートカリキュラム スタートブック」(平成27年1月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター)における幼児期の学びの芽生えの姿に関する記述の内容として適切なものの組合せは、下の1～5のうちのどれか。

- A 楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学んでいく。
- B 学ぶことについての意識があり、自分の課題の解決に向けて計画的に学んでいく。
- C 日常生活の中で、言葉のみによるコミュニケーションによって他者と関わり合う。
- D 頭も心も体も動かして、様々な対象と直接関わりながら、総合的に学んでいく。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

特別支援学校幼稚部教育要領における障害をもつ幼児の指導に当たって特に留意する事項に関する記述の内容として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 聴覚障害者の幼児に対しては、聴覚よりも視覚的な情報を十分に活用して、言葉の習得と概念の形成を図る指導を進めるようにする。
- 2 知的障害者の幼児に対しては、あらかじめ設定された活動内容や環境に沿って、幼児が活動に取り組めるようにする。
- 3 病弱者の幼児に対しては、病気の状態等を十分に考慮しつつ、他の幼児と同様に様々な活動を展開できるようにする。
- 4 複数の種類の障害を併せ有する幼児に対しては、専門的な知識や技能を有する教師間の協力の下に指導を行うことなどにより、全人的な発達を促すようにする。
- 5 障害をもつ幼児に対しては、家庭及び地域並びに関係機関との連携が図られるよう、特に家庭に重点を置いて教育的支援を行うようにする。

11

「学校における子供の心のケア -サインを見逃さないために-」(平成26年3月 文部科学省)における子供にトラウマ(心理的外傷)反応が現れたときの留意点に関する記述の内容として適切なものの組合せは、下の1～5のうちのどれか。

- A 不安や恐怖を思い出して体の症状を訴える場合、体が楽になるようリラクゼーションを促し、その症状が和らぐようにする。
- B 体を激しく動かすような課題や興奮するようなイベントへの参加は、ストレス解消になるので必ず参加するよう促す。
- C 子供の話に耳を傾けつつ、今の気持ちを詳しく聞き、質問や不安には、子供が理解できる言葉で、現在の状況をはっきりと詳細に説明する。
- D 子供が不安状態で普段できていたことができなくなったり、間違えたりした時は、不安が増してしまわないよう、ねぎらいの言葉をかけて、心配していることを伝える。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

12

「幼児期の運動に関する指導参考資料〔ガイドブック〕第一集」(平成27年3月文部科学省)に示されている幼児期の運動に関する指導の記述の内容として適切なものの組合せは、下の1～5のうちのどれか。

- A 幼児期は、体を動かすことを通して、生涯にわたって心身ともに健康的に生きるための基盤を培うことが大切である。
- B 幼児期は、多様な動きを身に付けやすい時期であるため、より高度な動きを身に付けられるよう、特定の動きを繰り返し行うことが大切である。
- C 幼児期は、多様な動きを獲得するために量(時間)の保障が大切であることから、保育施設内で1日60分以上は体を動かす時間を確保することが必要である。
- D 幼児期は、心身の発達が著しい時期だが、その成長は個人差が大きいため、幼児に体を動かす遊びを提供する際は、一人ひとりの発達に応じた配慮が必要である。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

「学校事故対応に関する指針」(平成28年3月 文部科学省)に示されている学校の施設及び設備に係る安全点検の実施に関する記述の内容として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 安全点検については、児童生徒等の安全確保や経費の観点から、年度当初に1回実施することが望ましい。
- 2 定期の安全点検だけでなく、学校行事の前後、災害時など必要に応じて点検項目を設定し、点検を行うことも必要である。
- 3 安全点検については、担当者が校舎や設置された遊具等の施設設備の不備や危険箇所を見つけ、様子を見る。
- 4 安全点検の結果、見つかった施設設備の不備や危険箇所については、まずは学校の設置者が、速やかに、修理、改善などの必要な措置を講じなければならない。
- 5 安全点検の実施に当たっては、必ず児童生徒等の意見も聞き入れ、担当者の視点により点検項目を設定し、実施しなければならない。

『きまりをまもる ころを育てる -幼児期の「規範意識の芽生え」の醸成 指導資料-』（平成26年3月 東京都教育委員会）における規範意識の芽生えを培う視点から幼児に経験させたい内容に関する記述として適切なものは、次の1～5のうちどれか。

- 1 3歳児後期には、避難訓練や安全指導を通して、安全な行動の仕方や集団での動き方が分かり、自分からやってみようとする。
- 2 4歳児前期には、身近な人（高齢者、年下の幼児、地域の人など）との関わりを通して、相手に合わせた言葉遣いを考えたり、意識して行動したりする。
- 3 4歳児後期には、友達のしていることに興味をもち、仲間に入ろうとしたり一緒に遊ぶことを楽しいと感じたりする。
- 4 5歳児前期には、やってよいこと、悪いことが分かり、自分なりに考え、行動しようとする。
- 5 5歳児後期には、友達との関わりの中で、思うようにならないことを経験し、相手にも思いや考えがあることに気付く。

「東京都発達障害教育推進計画」(平成28年2月 東京都教育委員会)に示されている総合支援体制に関する記述の内容として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 発達障害の児童・生徒や保護者からの相談を受けるため、東京都においては、教育分野での発達障害に関する相談を受ける窓口や、就学に関する相談を受ける窓口などを設置しており、これらの関係機関の連携を充実させていく必要がある。
- 2 都内の公立学校及び就学前機関における発達障害に関する実態調査は、発達障害と考えられる幼児・児童・生徒の障害の種類や程度を明確にし、適切な療育、訓練を受ける必要のある人数を把握することを主な目的としている。
- 3 発達障害の児童・生徒への対応は、乳幼児期から学校卒業までの間、教育のみならず、保健・医療・福祉・労働など様々な関係機関が、それぞれに独自性を生かした指導・支援を推進することが重要である。
- 4 発達障害は、幼児期における早期発見よりも、小学校就学以降から卒業後までの各段階における指導・支援の情報の引き継ぎや、継続した指導・支援を受けられる仕組みづくりが求められている。
- 5 発達障害の幼児に対する幼児期から学齢期までをつなぐ早期支援のため、幼稚園・保育所等で行われてきた指導・支援内容等を小学校へ引き継ぐ際、個人情報に係る内容は口頭による情報伝達を推進している。

16 幼保連携型認定こども園の説明として適切なものの組合せは、下の1～5のうち
のどれか。

- A 幼保連携型認定こども園は、学校としての法的な位置付けをもたずに教育及び保育を行う児童福祉施設である。
- B 幼保連携型認定こども園には、園長及び保育教諭を置かなければならず、副園長などその他必要な職員を置くことができる。
- C 幼保連携型認定こども園は、その運営に当たり、幼稚園教育要領又は保育所保育指針のいずれかを選択する。
- D 幼保連携型認定こども園は、満三歳以上の子どもに対する教育並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行う施設である。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

17

次の文章は、教育基本法の条文である。空所A～Dに該当する語句の組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。

- 教育は、(A) を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた (B) 国民の育成を期して行われなければならない。
- 父母その他の保護者は、子の教育について (C) を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、(D) を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

	A	B	C	D
1	人格の完成	心身ともに健康な	第一義的責任	自立心
2	能力の向上	社会に貢献する	選択する権利	自立心
3	能力の向上	心身ともに健康な	第一義的責任	自立心
4	人格の完成	社会に貢献する	選択する権利	道徳心
5	人格の完成	社会に貢献する	第一義的責任	道徳心

18 教育職員免許法の条文の内容に関する記述として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 幼稚園教諭の免許状は、普通免許状、特別免許状及び臨時免許状の3種類として
いる。
- 2 幼稚園教諭の免許状を有する者は、特別支援学校の小学校に相当する学級の指導
教諭になることができる。
- 3 教育職員の免許状の更新講習は、免許状の有効期間満了の日までに、その免許状
を有する者であれば誰でも受講することができる。
- 4 教育職員の免許状の更新講習は、大学その他文部科学省令で定める者が、文部科
学大臣の認定を受けて行う。
- 5 教育職員の免許状を有する者が免許状を破損、もしくは紛失したときは、その事
由をしるして、文部科学大臣に再交付を願い出ることができる。

19 学校保健安全法の条文の内容に関する記述として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれの
ある児童生徒等があるときは、出席を停止させることができる。
- 2 学校の設置者は、学年毎の隔年により、学校の職員の健康診断を行わなければな
らない。
- 3 学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の一部に限り
休業することができる。
- 4 学校においては、児童生徒等の健康診断の結果に基づき、疾病の予防措置や治療
を指示した後は、通常通り運動や作業を行わせなければならない。
- 5 市（特別区を含む。）町村の教育委員会は、翌学年の初めから学校に就学させる
べき者で、その区域内に住所を有する者の就学に当たって健康診断を行うことがで
きる。

20

次の文章は、児童福祉法の条文である。空所A～Dに該当する語句の組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。

全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に（ A ）されること、その（ B ）を保障されること、愛され、（ C ）されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその（ D ）が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

	A	B	C	D
1	養育	生活	保護	安定
2	養育	安全	尊重	自立
3	教育	生活	保護	安定
4	教育	安全	尊重	自立
5	養育	生活	保護	自立

21

児童虐待の防止等に関する法律の条文の内容に関する記述として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 学校の教職員は、児童虐待を早期発見しやすい立場にあることから、児童虐待を早期発見できなかった場合、法律上の責任が問われることとなる。
- 2 学校の教職員は、児童相談所長等から児童虐待に係る児童又はその保護者に関する資料又は情報の提供を求められたときは、これを提供しなければならない。
- 3 都道府県知事は、児童虐待が行われていると認めるときに限り、児童委員等に、児童の住所又は居所に立ち入り、必要な調査又は質問をさせることができる。
- 4 児童の保護のため必要があると認めるときは、児童虐待を行った保護者に対し、当該児童虐待を受け一時保護が行われた児童との面会や通信を制限することができる。
- 5 親権者がしつけの際に暴行や傷害などの虐待をした場合には、暴行罪、傷害罪など犯罪としての責めは負わないが、児童虐待としての責めを負う。

22 教育学、心理学に関する用語の説明として最も適切なものは、次の1～5のうち
のどれか。

- 1 外言は、音声が伴う他者に伝達するための言語をいい、内言は、音声が伴う自分で思考するための言語をいう。
- 2 合理化は、自分の欠けていると思う面を補うために、他の面を強調しようとする
ことをいう。
- 3 モデリングは、他者の行動を観察することによって、その人の行動や特徴を自己
に取り入れることをいう。
- 4 外発的動機づけは、報酬が目的ではなく、行動自体が目的となることをいい、内
発的動機づけは、目的達成の手段として行動が生じることをいう。
- 5 逃避は、自分に都合のよい理由を見つけて自分自身を許し、劣等感や失敗感から
逃れることをいう。

23

教育学、心理学に関わる人物と、関係の深い語句の組合せとして適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- | | | | |
|---|-------|------|----------|
| 1 | ボウルビイ | ———— | 自己実現の欲求 |
| 2 | エリクソン | ———— | アイデンティティ |
| 3 | マズロー | ———— | シェマ |
| 4 | ローレンツ | ———— | アタッチメント |
| 5 | ピアジェ | ———— | 刻印づけ |

24

感染症の説明として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 流行性角結膜炎は、目の痛み、目やになどの症状があり、目やにをティシュペーパー等の使い捨てできるもので拭くように注意すれば、後は経過観察でよい。
- 2 ノロウイルスによる急性胃腸炎は、患者の吐物などが乾燥すると、細かな粒子となって空中を漂い、その中のウイルスが鼻腔や口に入って感染することがある。
- 3 腸管出血性大腸菌感染症は、飲食物を介して感染するので、加熱調理を徹底すれば感染を防ぐことが可能である。
- 4 水痘は、発疹が丘疹状にふくれた水疱となるが、かさぶたになる前に発疹が小さくなれば、感染の心配はなくなる。
- 5 伝染性膿痂疹は、感染を受けた皮膚に水疱ができ、水疱が破れるまでは感染の可能性があるので、注意が必要である。

25

次のア～エは、幼稚園で飼育する例の多い生き物である。ア～エの生き物とえさの組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。

ア	カブトムシ（成虫）
イ	モンシロチョウ（幼虫）
ウ	スズムシ
エ	アゲハ（幼虫）

	ア	イ	ウ	エ
1	リンゴ	キャベツの葉	ナス	サンショウの葉
2	リンゴ	ミカンの葉	アブラムシ	サンショウの葉
3	腐葉土	キャベツの葉	アブラムシ	サンショウの葉
4	腐葉土	ミカンの葉	ナス	ダイコンの葉
5	リンゴ	キャベツの葉	ナス	ダイコンの葉

26

気象に関する語句とその説明として適切なものの組合せは、下の1～5のうちどれか。

- A 小春日和とは、春のはじめの穏やかで暖かい日をいう。
- B 猛暑日とは、1日の最高気温が35℃以上の日をいう。
- C 春一番とは、2月から3月中旬頃その年に初めて吹く南寄りの強い風をいう。
- D フェーン現象とは、海からの湿った空気によって湿度の高い風が吹くことをいう。

- 1 A・B
- 2 A・C
- 3 A・D
- 4 B・C
- 5 B・D

27

絵本名と作者の組合せとして適切なものは、次の1～5のうちどれか。

- | | | | |
|---|-------------|------|---------|
| 1 | そらいろのたね | ———— | 香山美子 |
| 2 | おおきなおおきなおいも | ———— | 赤羽末吉 |
| 3 | 14ひきのおつきみ | ———— | さとうわきこ |
| 4 | どうぞのいす | ———— | 中川李枝子 |
| 5 | すいかのたね | ———— | いわむらかずお |

28

次の楽曲について、下の各問いに答えなさい。

ただし、問いの性質上、拍子記号は記載していない。

[問1] この楽曲の歌詞に出てくる生き物は、次の1～5のうちのどれか。

- 1 めだか 2 かえる 3 どじょう
4 かめ 5 あめんぼ

[問2] (A) の小節として最も適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

[問3] この楽曲の拍子として適切なものは、次の1～5のうちのどれか。

- 1 2分の2拍子 2 4分の2拍子 3 4分の4拍子
4 8分の4拍子 5 8分の6拍子

平成31年度特別区立幼稚園教員採用候補者選考
選考問題の正答

(平成30年6月24日実施)

【 教職・専門教養 】

問題	正答
1	3
2	2
3	4
4	5
5	1
6	5
7	5
8	4
9	3
10	4
11	3
12	3
13	2
14	4
15	1

問題	正答	
16	5	
17	1	
18	4	
19	1	
20	5	
21	4	
22	3	
23	2	
24	2	
25	1	
26	4	
27	2	
28	1	3
	2	5
	3	2